

動物実験に関する検証結果報告書

日本大学生物資源科学部

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

平成30年3月

日本大学生物資源科学部  
学部長 大矢 祐治 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 浦野 徹



対象機関：日本大学生物資源科学部  
申請年月日：平成 29 年 7 月 12 日  
訪問調査年月日：平成 29 年 11 月 29 日  
調査員：三浦 竜一（東京大学）  
下田 耕治（慶應義塾大学）  
有川 二郎（北海道大学）

#### 検証の総評

日本大学は国内最大規模の総合大学であり 8 学部で動物実験を実施する。生物資源科学部で 5 学部目の外部検証となる。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、基本指針とする）」と環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下、飼養保管基準とする）」に適合した体制のもとで機関内規程と各種基準やガイドライン、動物実験委員会、各種様式、情報公開の方法等が整備され、これまでの外部検証結果報告書も公開されている。

生物資源科学部は実験動物以外にも産業動物、伴侶動物、野生動物を飼養保管し、教育研究だけではなく動物の診療や生産等の業務も行っている。7 学科で動物実験を実施し、多くの動物種を対象として多様な動物実験を実施する点が特徴である。学部独自に飼養保管マニュアルや施設設置基準、緊急時・災害時対応マニュアル等を定めている点、動物実験審査小委員会を設置して事前チェックや専門的な指導・助言を行う点を特に評価する。実験動物の飼養保管状況、動物実験の実施状況、教育訓練、自己点検の実施等もきわめて良好である。一方、多種多様な動物を飼養し

実験に供する特性上、それぞれに応じた飼養保管や実験環境、安全管理等が必要であり、対応できる専任の技術職員の配置や管理室・管理組織の設置等の対策を検討されたい。また、一部の飼養保管施設では老朽化や空調等の不具合があり改修等の検討も必要である。さまざまな動物種を用いた多くの動物実験を実施する学部として、よりよい教育研究環境を追求する教職員の姿勢と積極的な活動はもっとも評価できる。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針および飼養保管基準に適合した「日本大学動物実験運営内規」を日本大学全体の規程として定め、「日本大学動物実験運営内規解説」でわかりやすく解説している。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
本部動物実験委員会と実施学部ごとの動物実験委員会が設置されている。ともに、基本指針にある3種のカテゴリーの委員から構成され、動物実験計画書の審査や報告書の把握等も含め基本指針が求める活動を両方の委員会で実施される。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

学部および本部での入念な確認と審査は適正な動物実験の実施を確保するうえで優れている一方、迅速な実験開始の支障になったり、教職員の事務的負担が増加したりすることが懸念される。現在予定されている審査管理システムの導入を早急に進められたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

全学共通の各種様式は、動物実験を適正に実施するために必要な項目を網羅している。具体的な作成が容易にできるよう記入例も準備されている。当該学部独自に動物実験審査小委員会を設け、動物実験計画書の申請前に内容の確認、指導・助言を行う体制を持つことは特筆できる。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え実験に対する体制は動物実験の場合と同様で、本部と学部それぞれに委員会があり、審査・把握、承認等を実施している。病原体を使用する実験に対しては、学部のバイオセーフティ委員会が対応している。そのほか、麻薬・向精神薬等の管理体制も適正である。また、動物施設に特化した災害防止マニュアルと緊急連絡体制を備えている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>多様な動物種と動物実験を行うことから、学部独自に産業動物・伴侶動物・野生動物にかかわるガイドラインと動物福祉に配慮した施設設置基準・利用マニュアルを定めている点は実効性のある優れた取組みである。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>日本大学は外部検証を平成 24 年度以降毎年実施し、生物資源科学部は松戸歯学部、薬学部、医学部、工学部に続く 5 学部目となる。大学全体として一本化している機関内規程、動物実験委員会にかかわる体制、各種様式等については、これまでの外部評価においても特段の問題点は認められていない。</p>
---

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
本部動物実験委員会および当該学部の動物実験委員会それぞれを毎月定期開催している。さらに学部独自の動物実験審査小委員会を設置して月 2 回程度の活動を行い、計画書内に審査過程の経緯を記録している。議事録等の資料から活発な委員会活動が認められる。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
当該学部では、平成 28 年度に新規計画 142 件、変更計画 42 件が承認された。終了・中止報告 135 件で、実施した計画について結果報告 117 件があり、すべての動物実験計画の実施状況が把握されている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え実験や感染動物実験、有害化学物質や放射性物質を使用する実験を実施し、施設には必要な拡散防止措置や封じ込め措置が講じられ、適切な表示がなされている。審査にあたっては、それぞれ担当する委員会との連携ができています。動物実験にかかわる機器の故障や咬傷等の事故が発生しているが、報告書による把握がなされ、再発防止対策も迅速に講じられている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

### 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物種に応じた飼養保管基準や手順書、施設に応じた利用マニュアルを遵守し、実験動物の適切な飼養保管と施設等の適切な維持管理を示す各種記録や帳簿があり、動物福祉に配慮した飼養保管が認められた。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li></ul>



多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

広大な敷地内に多くの動物関連施設を持ち、動物種に応じた適切な飼養保管環境が整えられている。動物実験委員会は3年ごとに施設を視察した後に登録の更新を許可している。しかし、一部の施設では、改善や補修を必要とする不具合が認められ、日常の維持管理においても教職員の負担が大きくなっている。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価は、妥当である。

3) 検証の結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

オートクレーブ等の設備や機器の操作・確認を含めた全般的な維持・管理を専任で行う専任技術職員の配置や管理室・管理組織の設置を検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

ビデオ講習も含め年8回の教育講習が行われている。教職員や大学院生だけでなく学部学生であっても毎年の受講が義務付けられ、1,000名近い受講があった。また、外部の有識者を招いて、動物実験委員会委員や実験動物管理者等に対する講習会を定期的実施する点を特筆したい。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 実施学部ごとに動物実験にかかわる情報の収集と自己点検・評価を行い、とりまとめた資料に基づいて本部動物実験委員会にて総合的に評価されている。そして、必要とされる項目すべてを網羅した動物実験の実施にかかわる情報とあわせて大学のホームページ上にて公開している。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

農場は、実験動物ではなく産業動物の飼養保管施設であり、飼養保管基準の適用外であるが、さまざまな学生実習や動物実験を行う施設であり、基本指針の適用を受ける。一部に老朽化が認められること、臭気や防虫、鳥類等の野生動物の侵入への対策が必要であること、敷地外からも外部の者が観察できることを考慮し、施設の改善や補修等の措置を講じられたい。